

委員会会議録

(社)滋賀県トラック協会

会議名	平成22年度 第3回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成22年6月7日(月) 13:00~15:20
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「研修室1」
出席者	委員9名、会長、事務局3名

協議内容

定刻13時に開会。開会にあたり岡田会長から挨拶があり、続いて辻実行委員長から挨拶があった後、辻実行委員長が議事進行を行った。

(1) エコ・セーフティドライブコンテストについて

事務局から資料により当日の役割分担及び来賓予定者等の説明があった。

続いて次のことが確認された。

- ・ 当日、選手の欠席があった場合は準備等が間に合わないため補充は行わない。
ただし、数日前までの準備が間に合う期間については選手の入れ替えを行う。
- ・ 選手の出場会社からの応援については節度を持った応援をお願いし、代表者・社員・選手の家族に応援に来てもらうように再度FAXを送る。
ただし、応援については休日出勤手当まで支払う会社もあると聞いており、無理にはお願いしない。
また、家族等も来られる場合があるので危険防止のためにも今年度も同様に応援エリアを設ける。特に子供の行動については充分注意を行う。
- ・ 当日の担当業務の内容については、8時30分よりクレフィール湖東の担当者から説明を行ってもらい、周知をする。
- ・ 役員は当日、トラック協会の青いジャンパーと帽子を着用し、青年協議会は赤いジャンパーと帽子を着用する。

次に委員から以下の意見があった。

- ・ 応援については、応援が多いとそこからいろいろな方面に広がることもあるので広報的にも効果があると思われる。

続いて、辻実行委員長から広報活動の状況について中西部会長に質問があり次により報告された。

- ・ 事前のPRについてはトラック協会の総会時のパネル展示、協会HPでの広報、各支部での広報活動など順調に行っている。
- ・ 本日は広報部会のメンバーが私一人しか出席していないので、まだ検討出来ていないが、案としては、エコ・セーフティドライブコンテストについて新聞広告に掲載する。その記事の中に協会HPアドレスを掲載、HP上でクイズを出題し回答してもらおう。正解の中から100名に図書カードを送る、ということを経済の段階では私案であるが考えている。

その他、前回の実行委員会でも決定されたとおり、地元ケーブルテレビの取材やびわ湖放送によるDVDの作成とニュース番組の取り上げなどについて確認を行った。

また、より広報活動を充実させるために業界新聞だけでなく一般新聞社にも取材に来てもらいたいとのことから、県や地元東近江市の記者クラブにも資料の投げ込みを行うこととなった。

続いて、岡田会長から、本日、毎日新聞の記者が取材に来るので、そこでも「トラックの日」の事業についてPRしていきたい。又、「エコ・セーフティドライブコンテスト」や「ぐるっと・びわこ・クリーンアップ」の事業は今年で3年目となるので少しずつ改良を加えながら強かに推し進めていきたい。そして「エコ・セーフティドライブコンテスト」の結果を踏まえ「ぐるっと・びわこ・クリーンアップ」の事業までに記者会見を行い、「トラックの日」のPRを行っていききたい、と意見を述べられた。

(2) ぐるっと・びわこ・クリーンアップ(10/17)について

辻実行委員長及び事務局から前回の委員会での検討事項について参考資料に基づき説明があり、予備日について検討され、10月24日(日)とすることとなった。

また、各支部の担当エリアについては岡田会長から、同じ道路を使って仕事をしている、バス業界(協会)・タクシー業界(協会)にも協力についての話を現在しているので、先ずこの回答を聞いてから担当エリアについての検討をお願いしたいと述べられた。

続いて、辻実行委員長から意見を求められたところ次の意見があった。

- ・ 湖南支部長でもある中西委員から、もし協会だけでこの活動を行うのであれば、担当エリアは少し遠いが昨年と同じエリアで良い、との発言があった。
- ・ 前回の委員会でも意見があったが、ゴミを拾うばかりでなく、ゴミを捨てさせないということをPRしてはどうか。
- ・ 今年で3年目となるが5年計画で、1年1年の計画を立てランクアップさせるような内容について先ず検討してはどうか。
- ・ 以前に5年は続けて行うことは確認が出来ている。参加者に対しマンネリ化を防ぐような対策を考える必要がある。
- ・ 当支部では、ボランティア団体などがゴミ拾いを行っていることもあるのか、ゴミが少ないところ多いがこの事業を続けるのか、との意見もあるが、個人的には社員や家族と触れ合える場が出来るので良い事業であると思う。
- ・ 以前は各支部や協会ではソフトボール大会など社員や家族が交流する機会があったが今はない。「ぐるっと・びわこ・クリーンアップ」は交流が持てるといった意味でも良い事業である。年々、内容を改良しながら続けてほしい。
- ・ 先程ゴミを捨てさせない、という意見があったが、トラックが集まる所やよくゴミが捨てられる場所に「ゴミのポイ捨て禁止」の看板を協会名で立ててはどうか。今までもこの看板を立てたことにより効果が上がった実績もある。
- ・ 5年間この「ぐるっと・びわこ・クリーンアップ」を続け、後は各支部で継続し、協会ではまた新たな「トラックの日」の事業を行ってはどうか。
- ・ この活動の趣旨に賛同してもらい団体等を増やし、その後、ボランティア団体にも参加してもらってはどうか。ゴミ拾いの輪を広げることが良い広報活動の一つでもある。
- ・ 私が住んでいる市ではゴミ処分が有料となり、不法投棄が増えてきているのが現状である。道はボランティア団体などがゴミ拾いを行っていただいているが、特に山はゴミがたくさん捨てられている。ゴミを捨てないことが最終目標であり、今はゴミ拾いの輪を広げていくべきである。

- ・ 日経新聞では観光に行きたい都道府県は1位が北海道、2位は京都府、滋賀県は42位と書いていた。もっと滋賀の道を綺麗にし、来たいと思ってもらえるような県にならないといけない。継続は力である。これからいろいろなアイデアを出しながらこの「ぐるっと・びわこ・クリーンアップ」を推し進めていくべきである。
- ・ 以前、オシッコが入っているペットボトルが捨てられていたとトラック協会に苦情を言いに来られた方がいたと聞いている。実際はトラックのドライバーが捨てたかどうか分からないが、こういったことを言われないように、又ゴミを捨てさせないように道を綺麗にする必要がある。
- ・ ゴミを捨てない人は安全運転にも気を配っている。
- ・ ・ ・等の意見が出、まとめとして次のことを確認した。
- ・ 「ぐるっと・びわこ・クリーンアップ」の予備日を10月24日(日)とする。
- ・ この活動を5年は継続する。
- ・ 今年は3年目となるので、バス業界・タクシー業界の参加等も視野に入れ中身の充実を図る。
- ・ ドライバーの集まる場所などに「ゴミのポイ捨て禁止」の看板を設置する。また、チラシを作成し配布してもよい。

次回実行委員会

日 時 平成22年7月13日(火)13時30分～
場 所 滋賀県トラック総合会館